

財政状況のお知らせ

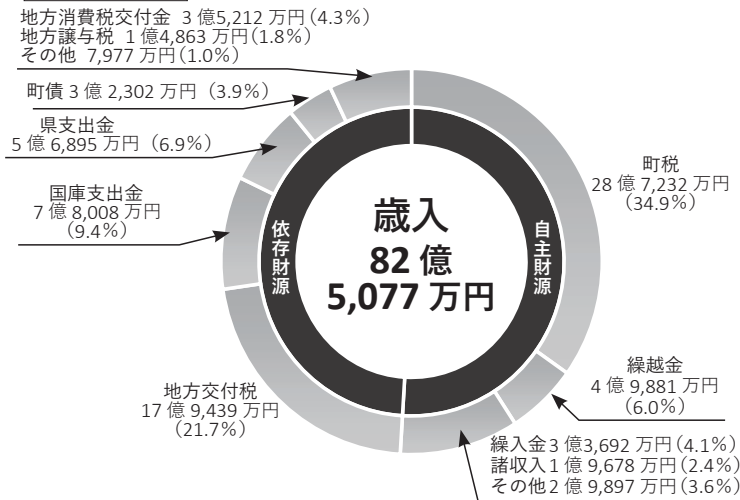
平成 29 年度決算状況
健全化判断比率及び資金不足比率

平成 30 年町議会第 3 回定例会で、平成 29 年度の一般会計をはじめとする各会計の決算について審査され、決算が認定されました。「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく、健全化判断比率・資金不足比率と平成 29 年度決算状況についてお知らせします。

※本文および図表などは、千の位を四捨五入しています。

一般会計

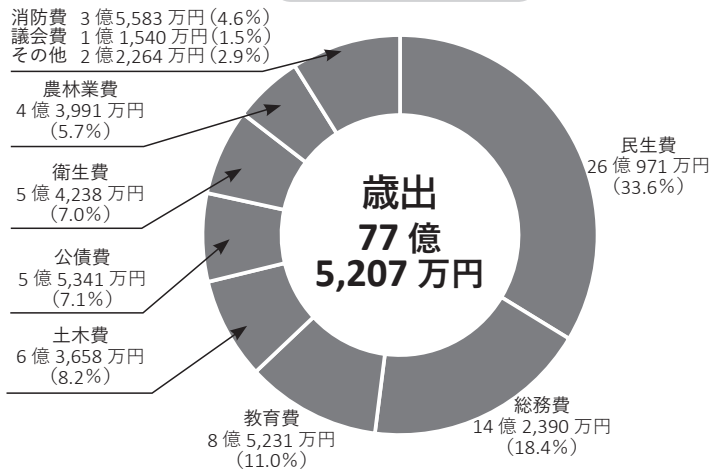
歳入決算額の内訳



一般会計とは、福祉や教育など住民に広く行われる事業に係る会計、**特別会計**とは、特定の事業を行う場合、一般会計と区分して経理する会計のことです。
平成 29 年度決算総額は、歳入が 155 億円、歳出が 146 億円になりました。



歳出決算額の内訳



健全化判断比率とは、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための指標、**資金不足比率**とは、町の公営企業の資金不足をその事業規模と比較して指標化したものです。いずれも国が定めた基準内に収まり、町の財政は健全な状態であると認められました。



特別会計

◆特別会計の決算状況

会計区分	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	36 億 1,868 万円	34 億 4,525 万円
後期高齢者医療	1 億 8,563 万円	1 億 8,163 万円
介護保険	17 億 5,160 万円	16 億 5,625 万円
中央土地区画	2 億 1,173 万円	1 億 2,993 万円
農業集落排水	5 億 8,924 万円	5 億 8,366 万円
下水道	4 億 6,373 万円	4 億 5,119 万円

◆水道事業会計の決算状況

区分	収入決算額	支出決算額
収益的会計	4 億 9,254 万円	3 億 4,796 万円
資本的会計	0	7,504 万円

健全化判断比率及び資金不足比率

◆八千代町の健全化判断比率

	八千代町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	14.91%	20.00%
連結実質赤字比率	-	19.91%	30.00%
実質公債費比率	7.1%	25.0%	35.0%
将来負担比率	66.6%	350.0%	-

※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「-」と表示しています

◆八千代町会計別資金不足比率

	水道	下水道	農業集落排水	中央土地区画
資金不足比率	-	-	-	-
経営健全化基準	20.0%			

※資金不足額がないため、資金不足比率は「-」と表示しています。